

ルートイットについて

1. オペーシャス色のセメントベースについて

光遮蔽性の高いルーティングセメント ベース(オペーシャス ホワイト、オペーシャス ユニバーサル)を用いる場合は、ユニバーサルキャタリストと等量練和し、化学重合により硬化させてください。オペーシャス色系のルーティングセメント ベースを光重合にて接着すると、症例により硬化不良を生じる場合があります。



2. 症例による重合形式の選択について

接着する修復物の光透過性が悪い場合(例えば金属修復物、オペークやオペーシャス色の材料及び修復物の厚みが厚く光が十分透過しないメタルフリー修復物)は、必ずユニバーサルキャタリストと等量練和し、化学重合にて硬化させてください。このような修復物の場合に光重合させると、接着不良を生じる恐れがあります。



3. ユニバーサルキャタリストの保管について

ユニバーサルキャタリストは冷暗所にて保管してください。ユニバーサルキャタリストは保管温度により変質することがあり、変質した場合はペーストの色調が白色から薄黄色に変色し、硬化時間が遅くなります。ご使用前にペーストの色調を必ず確認し、変色した状態になりましたら直ちに使用を中止し、新しい製品をお買い求めください。



4. オールセラミック及びハイブリッドレジンの接着

オールセラミック及びハイブリッドセラミック修復物の接着面は、接着前に接着阻害となる汚れ、油分、唾液、水分を十分に除去し、付属のシランカップリング材(シラン)及び、ボンディング処理(ボンドワン)にて前処理を行ってください。

接着面の処理は接着の直前に行ってください。



6. ボンディング材(ボンドワン)の取扱いについて 1

ボンドワンはウエットボンディングタイプのボンディング処理材です。歯質へボンディング処理する場合は、リン酸エッチング処理後十分に洗浄し、弱エアまたはペーパーポイントなどで余剰水分を除去しますが、表面に水分が残った状態で塗布してください。表面が乾燥していると、脱灰した象牙質コラーゲンが収縮し、ボンドワンが浸透しにくくなる為、接着力が低下したり、知覚過敏を生ずることがありますので、注意してください。

5. ボンディング材(ボンドワン)の取扱いについて 2

ボンドワンを使用後はキャップを確実に閉めて保管してください。密栓が不十分、または他の容器に移して放置すると、ボンドワンに含まれる揮発成分蒸散し、象牙質へ浸透しにくくなり、接着力が低下したり、知覚過敏を生ずることがありますので、注意してください。



揮発成分の蒸散を防ぐため、使用後は速やかにキャップを閉めてください。